



# ささゆり

6月特別号

令和3年6月3日  
七尾市立中島小学校

TEL 66-0055

FAX 66-6650

文責 岩崎

教育目標 「心身ともに健康で、自ら考動する児童の育成」  
めざす子ども 「なかよくかしくじぶんからまなぶ中島っ子」  
学校メールアドレス [nakasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp](mailto:nakasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp)

## 自己有用感を高める取組！

本当に素晴らしい取組ばかりでありありがとうございます。今回は、3～6年の一部を紹介します。今後の取組の参考にいただければ幸いです。

なお、紙面の都合で一部省略させていただいたことをご承願います。



「ありがとう」の言葉をたくさん使うように(G・W)過ごしました。何度か「ありがとう」を伝えた時に、「いつもご飯を作ってくれてありがとう」と、子どもが声をかけてくれたので嬉しくなりました。



入浴時に、いつも私の背中を洗ってくれます。「力があるからすっきりすると思うよ」と、とても頼もしい言葉が聞けて、嬉しかったです。

子どもの時、父親に常々「お前は父ちゃんの宝物や」と言われていたことが、自己有用感になっていたなあと思いました。私も聞き飽きるくらい、どれだけ大切な存在かを言葉にして伝えていきたいです。

疲れて横になっていると、「お母さん大丈夫？お茶碗洗ってあげる」と進んでしてくれ、「助かった。元気になったよ。ありがとう」と伝えると、とても嬉しそうな顔で「よかった」と言っていました。

いつも怒ってばかりの怒りんぼ母ちゃんですが、寝る前には布団の中で大切な子だということを伝えるようにしています。これからも、自己有用感を高められるように意識していこうと思います。

自ら手伝いはなかなか難しいですが、私から助けて!!とSOSを出すと、嫌な顔をすることもなくご飯を運んだり、時には自ら食器を洗ったりすることがあります。「助かった・ありがとう」と毎回伝えます。

春から、バス停までの行き帰り歩くことに決めました。朝は一緒に歩きながら学校の予定などを聞き、最後「がんばれ」と手を振る私に、にこっと笑顔で手を振る娘に仕事に行く元気をもらっています。

姉と一緒に食事を作りたがるようになり、「食べて」とアピールする姿がとても嬉しそうです。以前は「親だからしっかりしないと」と思って、ストレスだった時がありましたが、今は苦手なこと(家事)を家族に「できません、苦手です」と言って助けてもらうようにしています。

大人同士けんかになりそうになったり、つい相手にきついことを言ってしまったりします。その時に「まーま、ちょっと落ち着いて！」や「そんなひどいこと言わないの！」など、ユーモアを交えて言うので場が和み、笑ってしまいます。子どもに教えてもらうことはたくさんあります。





月に何度か夜勤で家に不在の時がありますが、夜勤明けは、いつもの倍のお手伝いをしてくれる気がして、とてもありがたい存在です。

連休中は、姉妹でけんかをしていましたが、仲良く過ごせている時には笑顔で二人のやり取りを見つめるように心がけ、妹に「優しいお姉ちゃんでもよかったね～」と姉に聞こえるように声掛けをしました。

週3のバスケット練習で疲れて帰ってきてても必ず「明日のお米は何合？」と聞いてきて、忘れずに炊いてくれます。翌朝、炊き上がり具合を確認し、水加減を工夫してくれて助かります。

子どもには小さな頃から「私達の所に生まれてきてくれてありがとう」「大好き」という言葉を伝えてきています。子どもの存在そのものに感謝しかありません。本人にもそれが伝わっているようなので、それが我が家なりの自己有用感です。

近所に遊びに来る小さい子の面倒を見たり、一緒に遊んであげたりしたことを家で話してくれます。すごいなあいつも思います。小さい子の祖父母に感謝されているので私もとても嬉しいです。

GW中は田植えをしました。田植え後の苗箱洗いを父と一緒に150枚洗いました。二時間半の単純作業で半ばつまらなさそうにしていたのですが、最後まで頑張り、父としては大助かりで感謝の気持ちを伝えました。



毎日のふろ洗いをして助けてもらっています。祖父の薬の飲み忘れにも気を遣って「薬飲んだ？」と声掛けをしてくれて助かっています。

大きくなってあまり甘えてくれなくなりましたが、GWの期間にぎゅーと抱きしめて「ありがとう」と伝えました。照れながらも喜んでいました。

連休中は、部屋を整えました。二人部屋から一人部屋になり自分の部屋ができたので、身の回りの整頓を自分でできるようになってほしいと伝えました。家庭と学校生活両方楽しそうなので、それが親として一番嬉しいです。いつもお互い「ありがとう」を言い合うように心掛けています。

祖父母宅の部屋をリフォームするため、荷物を移動する手伝いをしてくださいました。いとこたちも協力して祖父母のために頑張ってくださいました。みんなに「ありがとう」と伝えたら、嬉しそうでした。みんなで協力し、大切な家族のために役に立てたことは、よい経験になったと思います。

学校での発表やピアノ演奏など、恥ずかしいという気持ちより私がやらなければという使命感を持っているところは本当にすごいなあと感心させられ、いつも誉めています。



地区の配りもの、回覧板を回すのを手伝ってくれます。私たちが助かることと地区の方々の役に立っていることを伝えました。そして、人に優しくできる子になってほしいといつも伝えています。

**Let's call.オアシスライン**

～親と子のなんでも電話相談室～

受付時間：13:00～16:00(月曜～金曜)

TEL 0767-52-0783

相談内容：悩んでいること、困っていること

\*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

